

1億人ではなく
100億人を見据えた
農林水産・食品産業へ

青果物輸出産地セミナー & マッチング in 鹿児島 2023

アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部

小栗 史也

開催概要

セミナーにて九州南部・全国からの青果物輸出の先進事例・今後の可能性を紹介した上で、商社/バイヤーとの商談・他事業者とのネットワーキングを推進。

11/21(火) 1日完結

セミナー(現地開催)
※後日アーカイブ配信

個別商談会

事業者間交流会



- 輸出産地等から、多くの産地が手本としやすい産地づくりの取組・ポイントについて紹介
- 産地支援に関わる商社・コンサル中心に、支援事例・産地形成のポイントを紹介

- 国産青果物を積極的に取扱う商社・バイヤーとの商談を実施
 - 会場にバイヤー毎のブースを作り、現地商談
 - 会場に來れない場合はオンライン商談
- 交流会は、商社・コンサル・物流等を囲む形で商談会の待ち時間に実施

九州南部の青果物輸出拡大に向けて
商談・ネットワーキング促進まで伴走

本日の登壇者

- 農林水産省 園芸作物課
- かごしま有機生産組合（鹿児島：有機野菜）
- ジャパンベジタブル/日本農業（静岡：かんしょ）
- 右田柑橘（熊本：みかん）
- 海連（鹿児島：かんしょ加工品）
- 国分グループ（商社：北海道産青果物等）

本日の参加商社

事業者名	主な輸出先国	事業者概要
九州農水産物直販株式会社 (福岡県/商社)	香港等	産地より直接仕入れ、Dairy Farm社(香港)へ直接送ること でマージンを極力控えた独自の販路を有する。アジア諸国10か 国以上に輸出。
Wismettacフーズ株式会社 (東京都/商社)	香港、シンガポール、台 湾、マレーシア、タイ、ア メリカ等	小玉りんごをはじめ、多様な高品質国産青果物等を中国・香 港・東南アジア等に輸出する商社。独自の外装箱(オリジナルブ ランド)等の工夫も評価が高い。
国分グループ (東京都/商社)	アジア、ヨーロッパ、北米 等、世界60カ国以上	300年を超える歴史の老舗食品・酒類の総合卸売業。海外お よそ60か国・170社に輸出を展開。日本産品を使用した商品 開発にも注力。
株式会社シングローバル (鹿児島県/商社)	香港・マカオ・台湾・タ イ・シンガポール等	アジア圏に向けて九州産の青果物等の輸出を行う。アジアへ新 商品を売り込むため、現地小売店や飲食店でプロモーションを 企画・開催するほか、現地でのネットワークを活用して、海外展 開における個別支援も手掛けている。
株式会社世界市場 (東京都/商社)	香港・台湾等	輸出を通じて、環太平洋地域を日本の農産物商圏にすること を目指す。今年度からはGFPの枠組みの中で、複数のグローバ ル産地形成に着手。
株式会社九州みらい Creation (熊本県/商社)	香港・台湾等	九州フィナンシャルグループの子会社で2023年4月に設立。輸 出実績は未だ少ないが、主に南九州産品の海外販路拡大支 援を通じて地域貢献を目指す。

青果物輸出に関する現状認識

- オールジャパンでの継続取組を通じて、青果物輸出は継続的に拡大基調（2022年：前年比+19.2%、2023年1～9月：前年比+14.0%）
- ただし、日系小売（特に香港：処理水問題も間接影響）中心の輸出には頭打ち感が出てきており、もう一段階の輸出拡大を図る上では、今が**“青果物輸出2.0”**に向けたターニングポイント
- 新規輸出先国の開拓（前提となる輸出規制緩和含む）・新規販売チャネルの開拓・大ロット輸出に資する輸出チームづくり、が急務
- 昨年度、意欲の高い生産者×有力商社とのマッチングを実施。今年度は、各地域の先進生産者を中心として、周辺生産者を巻き込んだ輸出産地づくりを加速したい。青果加工品の開発も合わせて行うことが重要
 - 鮮度保持技術活用・包材規格統一・卸売市場連携・地方港湾活用を含めた青果物の最適物流ルート構築も鍵

青果物輸出拡大の方向性

- **【主な有望品目】**桃・メロン・シャインマスカット・いちご・ゆず：海外ニーズが高く、他国産とも差別化可。かんきつ：多様な品種×贈答用需要にポテンシャル
 - **野菜では、かんしょ・ながいも・重量野菜（キャベツ・かぼちゃ・大根等）も堅調：焼き芋・鍋メニュー等。更なるメニュー拡大・業務用提案が鍵**
 - 同時に新規品目のテストマーケティング・丁寧な訴求・有望性見極めも並行すべき
- **【輸出先国】**タイ・マレーシア・北米の優先度・ポテンシャルが高い。中東・ベトナム（規制緩和も必要）への種まきも並行。台湾も残留農薬規制は厳しいが、ローカル小売・台中/台南にポテンシャルは残る市場
- **【販売チャネル】**各国のローカル小売との関係性強化が必要→日本産定常棚・新規チャレンジ棚・地域ブランド棚の設置を促したい。スイーツ・外食店での日本産活用拡大・有望メニュー検討も重要（海外&日本シェフ連携）

輸出商社・海外バイヤーを巻き込んだ“新しい試食・商談会”

商社・海外バイヤーを巻き込んで現地ニーズ起点での商品・メニュー開発を共創することが、海外バイヤーによる日本産青果物の“自分ごと”化を促す。

バイヤー招聘・ワークショップ・商談



メニュー提供・試食
(レストラン・テストキッチン)



ワークショップ
(メニュー・ブランディング検討)



産地紹介
(産地ツアー・視察アレンジ)



連携

GFP
日青協

新たな商品発掘・取扱検討

輸出メニュー開発・試食

ライブコマース・SNS発信



海外バイヤー・シェフ
インフルエンサー



バイヤーの日本産青果物ファンづくり・“自分ごと”としての商品開発～販売促進、海外消費者への発信

“新しい試食・商談会” ～香港小売バイヤー招へい

先週、香港の小売チェーンのバイヤーを鹿児島に招へいし、野菜のメニュー試食会を行い、南九州の野菜の品質の良さ・メニューでの引き立たせ方をレクチャー。



地方港湾からの青果物輸出物流ルート構築

10社以上の生産者の青果物を混載し、CAコンテナでシンガポール向けに輸出。
青果物輸出において、地方港湾活用は鮮度維持面と輸送コスト面で適している。

実証概要

輸出産地近隣の港湾を活用した
高鮮度での青果物混載・大ロット化輸出

港湾

志布志港（鹿児島県）

品目

キャベツ、大根、ケール、ほうれん草、葉ねぎ
小松菜、青梗菜、ブロッコリー、ミニトマト等

概要

- 既に志布志港より輸出実績のある大根・キャベツに加え、10社以上の生産者の葉物野菜や軟弱野菜の混載輸出を実施
- 計4コンテナを志布志港発～神戸経由で、シンガポール向けに輸送
- 40フィートCAコンテナを使用
- 輸送コスト、輸送時間、鮮度維持、現地ニーズの観点で検証



実証結果

到着時のレタス



到着時のほうれん草



- 産地からCAコンテナにバンニングするまでの時間を短縮でき、鮮度が良い
- トータルでの輸送時間も神戸港から輸出する場合と大きな差が無い
- 国内輸送費を抑えられ、CAコンテナの事前手配は主要・地方港に関わらず必要なことから海上輸送費の差は小さく、合計輸送費を抑えることが可能

混載による輸出が有望な品目 ～志布志港

——▶ メイン商材
-----▶ 少量品目



農水省GFP事業×内閣府プロフェッショナル人材戦略との連携

農水省：GFP事業と内閣府：プロフェッショナル人材事業が連携しつつ、輸出に向けた人材のマッチングサービスを提供しており、是非ともご活用頂きたい！

定期的な支援

↓

↑
スポット支援
↓

	雇用形態	従事内容
農業経営者の 右腕人材 (COO)	<u>自社人材</u> 常勤 (週5日勤務)	- 経営・輸出・営業方針の具体化・実行や補助金申請書類提出の際に仮説構築・情報収集・議論・資料化・手続きまで一貫してリード出来る - データ活用等のビジネストレンドに敏感で、噛み砕いて説明出来る
顧問人材 (伴走支援)	<u>副業・外部人材</u> 顧問契約 (週1回程度)	【経営戦略全般に対する助言】 - 農業経営体の輸出事業の方向性に対して、軌道修正・アドバイスを実施 - 行政等含めて地域関係者や輸出関係者に顔が利く存在として、ネットワーク構築に貢献 - 他行政案件等、活用できそうな事業を提案
スポット 専門家	<u>副業・外部人材</u> 業務委託 (適宜)	【専門性の伴う取組での参画】 輸出事業における専門性の伴う取組（プロモーション・ブランディング・DX構築等）に参画し、成果物として納品する

GFPとの連携



事業者
紹介

マッチング・
成果報告

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan



プロフェッショナル人材
事業